

熊本女大家政 松下アヤコ

1. 果実および蔬菜類の呈味とそれらに含有される遊離糖との関係をしらべる研究の一環として果実および蔬菜類の各器官別における遊離糖の分布状況をしらべるのが目的である。

2. 試料→ミカン科, パラ科その他数種の果実および蔬菜類

抽出溶媒→80%エタノール

検索および確認→P.C を実施した

展開溶媒→(a) n-butanol : acetic acid : water
(4 : 1 : 2)

(b) n-butanol : Pyridine : water
(3 : 2 : 1.5)

発色試薬→(a) Benzidine-trichloroacetic acid
(b) Phloroglucinol-trichloroacetic acid

展開方法→一次元上昇多重展開法

3. ① raffinose と sucrose は試料としたすべての果実および蔬菜の種子中に共存する。

② stachyose, raffinose, sucrose の三種が果実および蔬菜の種子中に共存する場合も多い。

③ 試料の果汁または果肉中には stachyose および raffinose の存在は、みとめえぬ場合が多く、sucrose, glucose の二種または sucrose, glucose, fructose の三種の共存がみとめられる。